

パネリスト

小野田 泰明

おのだ やすあき

1963年金沢市生まれ。東北大学大学院 都市・建築学専攻 教授。同 災害科学国際研究所 教授(兼任)。博士(工学)、一級建築士。建築のソフトとハードを繋ぐ「建築計画者」として、せんだいメディアテーク(設計:伊東豊雄)、横須賀市美術館(設計:山本理顕)、流山おおたかの森小中学校(設計:小嶋一浩、赤松佳珠子 +CAI)等の計画に関わる。東日本大震災後は、岩手県釜石市復興ディレクター、宮城県石巻市復興推進会議会長、宮城県七ヶ浜町復興アドバイザー、岩沼市玉浦西地区まちづくりアドバイザーなどを努めつつ、最前線で質の高い復興の実現に貢献。

建築作品に、くまもとアートポリス・荅北町民ホール(日本建築学会賞作品 2003)、東北大学百周年記念館・萩ホール(公共建築賞 2016)(以上、阿部仁史と共同設計)他。著書に「集合住宅の新しい文法 - 東日本大震災復興における災害公営住宅」共著、新建築社,2016、「ブレ・デザインの思想」TOTO 出版(日本建築学会著作賞 2016)、2013、「モダニティと空間の物語」共著、東信堂、2011、「プロジェクト・ブック」共著、2005、彰国社 他。

家成 俊勝

いえなり としかつ

1974年兵庫県生まれ。京都造形芸術大学准教授

2004年 赤代武志とドットアーキテクツを設立。アート、オルタナティブメディア、建築、地域研究、NPO などが集まるコーポ北加賀屋を拠点に活動。建築設計だけに留まらず、現場施工、アートプロジェクト、

さまざまな企画にもかかわる。代表作として、アートホテル kumagusuku(2015、京都)、美井戸神社(2014、香川)、また Umaki Camp(2013、小豆島)と個人住宅 No.00(2011)では設計だけでなく施工も担う。第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展(2016)にて審査員特別表彰を受賞(日本館出展作家)。

辻 琢磨

つじ たくま

1986年 静岡県生まれ

2010年 横浜国立大学大学院建築都市スクール Y-GSA 修了

2010年 Urban Nouveau* 勤務

2011年~ Untenor 企画運営

2011年~ 403architecture [dajiba] 共同設立、共同主宰

2017年 辻琢磨建築企画事務所設立

現在、滋賀県立大学、大阪市立大学、武蔵野美術大学非常勤講師。

2014年「冨塚の天井」にて第30回吉岡賞受賞。

モデレーター

竹内 申一

たけうち しんいち

1968年愛知県生まれ

1990年東京藝術大学美術学部建築科卒業

1992年同大学大学院美術研究科建築専攻修了

1993年~2004年伊東豊雄建築設計事務所

2005年竹内申一建築設計事務所設立

2011年金沢工業大学建築デザイン学科 准教授

2017年~金沢工業大学建築デザイン学科 教授

1991年SDレビュー入選、2009年JIA 建築家のあかりコンペ 優秀賞、2015・2016年中部建築賞、2015年グッドデザイン賞

プログラム

14:30 開場	15:00	15:10	16:10	16:20	17:20	17:45	18:00 閉会
	趣旨説明 パネリスト紹介	パネリストによる プレゼンテーション	休憩	ディスカッション	質疑応答		

申込書



mail@jia-hokuriku.org



076-229-7208

シンポジウムに参加します

氏 名 :

所 属 (会社名・学校名):

連絡先 (メールまたは電話):

※メールまたはFAXでお申し込み下さい。メールの場合はメール本文に必要事項を記入して下さい。

※記入いただいた個人情報は適正に管理し、当イベントの目的にのみ使用します。

※CPD: 2単位(予定) 受付時にCPD番号をご記入いただきます。